

初心にかえる：神への信頼

茅ヶ崎教会司祭 宮内 毅

カトリック茅ヶ崎教会のみなさま

さる6月28日日曜日の午前10時から当教会で入信式が行われました。4月11日の復活徹夜祭で入信の秘跡を受けられる予定であったのに、新型コロナウイルス感染拡大の影響でそれが叶わずに2ヶ月半以上も待ち続けてこられた12名の志願者のみなさんが、ようやく洗礼、堅信、そして聖体の秘跡をお受けになることができました。これまで志願者のみなさんのためにお祈りくださったみなさま、本当にありがとうございました。

私は司式者として、この式に参加するお恵みをいただきました。志願者のみなさんがご自分の信仰を宣言し、入信の秘跡を受けられている様子を目の当たりにしたとき、否応なしに自分自身の信仰生活を振り返させられました。そして、自分も初心にかえって、洗礼、堅信、聖体の秘跡を受けられたみなさんと共に、新たな気持ちで再出発したいという気持ちになりました。

7月3日は使徒聖トマスの祝日です。復活したイエスさまが最初に使徒たちに現れたとき、トマスはそこにおらず、仲間たちがイエスさまの復活を告げ知らせてもそれを信じようとしませんでした。その一週間後、イエスさまはトマスが他の使徒たちと一緒にいるときに、ご自分を現されます。そして、ようやくイエスさまの復活を信じたトマスに次のように言われました。

「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」
(ヨハネによる福音書 20 章 29 節)

イエスさまは、この言葉によってトマスだけでなく、わたしたち一人ひとりを励ましてくださっているのではないのでしょうか。目には見えないけれども確かに存在して、わたしたちといつも共にいてくださる神さま、そしてその神さまの愛と導きに信頼することは、わたしたちの信仰にとって最も大切なことであると言ってよいでしょう。

イエスさまはわたしたちに、このような信頼の心を保ち続けるようにと今日も励ましておられます。神さま、イエスさまを信頼して生きることは、文字通り「言うは易く、行うは難し」だと思います。そのように感じるときは、せめて「信じる心を持ちたい、神さまを信頼して生きたい」という望みを保ち続けることができるように、神さまに助けを求めましょう。

7月5日から地区（グループ）ごとの主日ミサが始まります。入信の秘跡を受けられたみなさんをわたしたちの共同体に迎え、わたしたち一人ひとりがキリスト者としての初心にかえるためのよい機会となっていくように。

主日の集会祈願と、ことばの典礼からの抜粋

○年間第 15 主日(7 月 12 日)

祈願: すべての人に呼びかけてくださる神よ、ガリラヤの湖のほとりに集まった人々のように、今わたしたちも主のことばに耳を傾けます。この喜びの知らせを、心に深く受けとめることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

みことば: [主は言われる。] 雨も雪も、ひとたび天から降れば むなくしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ 種蒔く人には種を与え 食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も むなくしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ わたしが与えた使命を必ず果たす。(イザヤ書 55 章 10~11 節)

○年間第 16 主日(7 月 19 日)

祈願: すべてに心を配られる神よ、あなたは世界によい種をまき、その成長をいつくしみと忍耐をもって見守っておられます。ここに集うわたしたちが互いに愛し合い、神の心にかなう者として成長することができますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

みことば: [皆さん、“霊”は] 弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。人の心を見抜く方は、“霊”の思いが何であるかを知っておられます。“霊”は、神の御心に従って、聖なる者たちのために執り成してくださるからです。(ローマの信徒への手紙 8 章 26~27 節)

○年間第 17 主日(7 月 26 日)

祈願: 愛である神よ、あなたはいつもわたしたちに、神の国のすばらしさを示してくださいます。ここに集うわたしたちが、キリストのことばのうちに喜びと光を見つけることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

みことば: [そのとき、イエスは人々に言われた。] 「天の国は次のようにたとえられる。畑に宝が隠されている。見つけた人は、そのまま隠しておき、喜びながら帰り、持ち物をすっかり売り払って、その畑を買う。また、天の国は次のようにたとえられる。商人が良い真珠を探している。高価な真珠の一つを見つけると、出かけて行って持ち物をすっかり売り払い、それを買う。」(マタイによる福音書 13 章 44~46 節)

○年間第 18 主日(8 月 2 日)

祈願: 飢え渇く者を恵みで満たされる神よ、豊かな愛をたたえて祈ります。わたしたちがあなたのことばに聞き従い、まことのいのちに生きるものとなりますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

みことば: [主は言われる。] 「なぜ、糧にならぬもののために銀を量って払い 飢えを満たさぬもののために労するのか・・・わたしに聞き従えば 良いものを食べることができる。あなたたちの魂はその豊かさを楽しむであろう。耳を傾けて聞き、わたしのもとに来るがよい。聞き従って、魂に命を得よ。」

(イザヤ書 55 章 2~3 節)